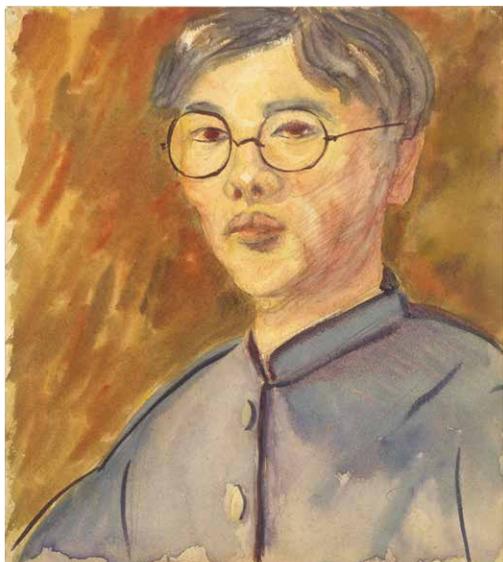
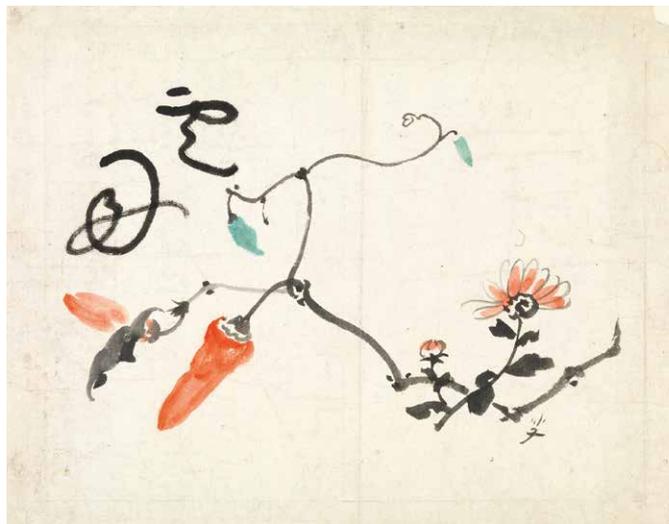


檀一雄が描いた学生時代の自画像



檀一雄 自画像 当館寄託

画家が彩った俳誌「雲母」の表紙



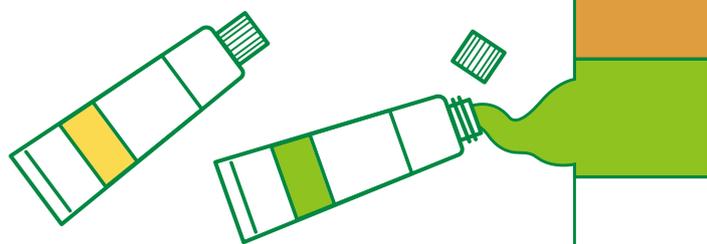
小川芋銭「雲母」表紙原画 1929(昭和4)年 第15巻第1号～第12号に使用

特設展

作家の 絵ごころ

視覚で楽しむ文学展

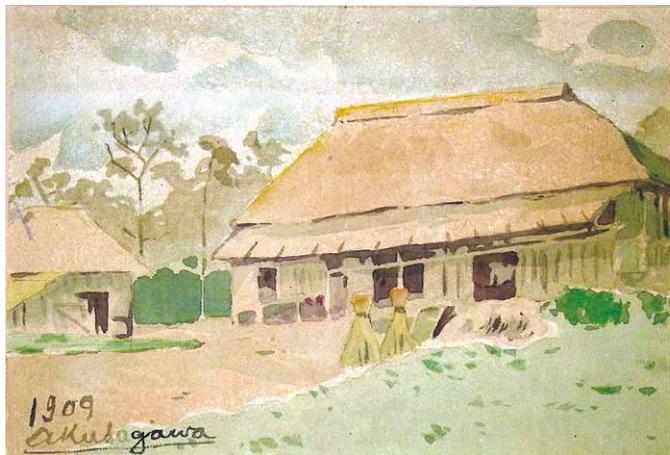
作家が描いた絵、作家の美意識が感じられる本や雑誌について紹介します



2025年
7.12[土] - 8.24[日]

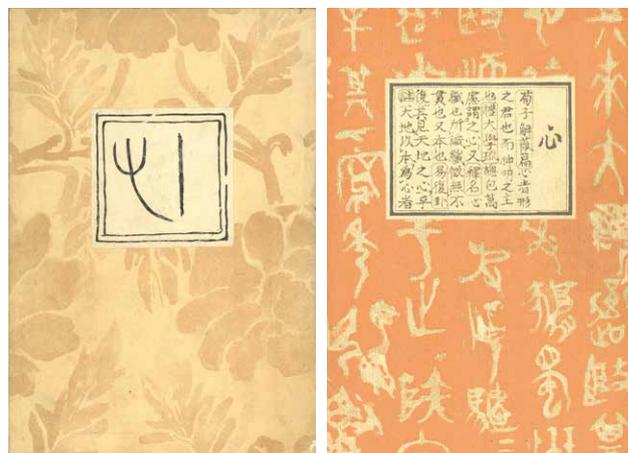
休館日 7月14日(月)、22日(火)、28日(月)
8月4日(月)、18日(月)

芥川龍之介が描いた風景画



芥川龍之介 風景画 1909(明治42)年

夏目漱石が自身で装幀を手がけた本



夏目漱石『こころ』 1914(大正3)年9月 岩波書店 左は外箱

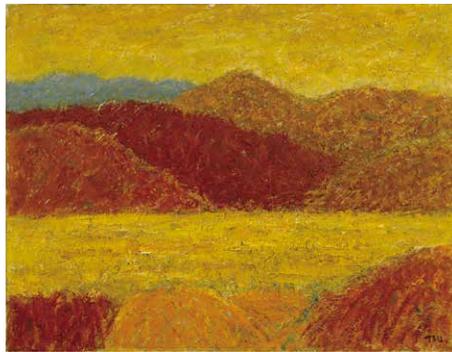




津田青楓画「漱石山房図」

津田青楓(1880~1978)は、門下生として漱石山房に出入りしていた画家。『道草』『明暗』などの漱石の著書の装幀を手がけた。

©Rieko Takahashi 2025 /JAA2500074



辻葦夫画「山河」 1955(昭和30)年頃

「雲母」1955年第41巻5月号~8月号表紙原画。甲府市生まれの画家・辻葦夫(1902~1980)は、飯田蛇笏、龍太父子に師事して俳句を詠んだ。俳号を蕨村という。

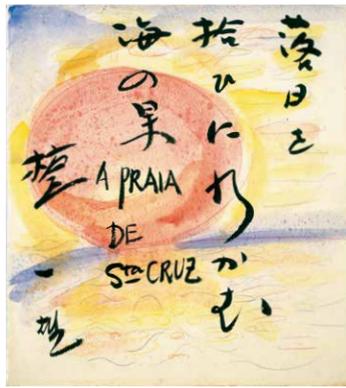
作家の中には、自ら好んで絵を描いたり、自著の装幀を依頼した画家にこまやかな指示をしたりと、美術に深くこころを寄せた人たちがいます。夏目漱石や芥川龍之介は、絵を描くことを楽しみ、著書の装幀にも自身の美意識を反映させました。また、俳誌「雲母」では多くの画家たちが表紙や誌面を彩ると共に、みづから句作に取り組み者もいて、美術と文学の交流の様子がみられます。

文学者の書画、装幀、挿絵の原画、作家と画家の交流を表す書簡などにより、文学と美術が織りなす豊かなコラボレーションの世界を紹介します。



芥川龍之介画「水虎晩帰之図」 1923(大正12)年8月

芥川龍之介(1892~1927)が夏期大学の講師として山梨県北杜市の清光寺に滞在中、世話をした諏訪孝禪のために描いた。河童の墨絵は、1920年代に芥川が好んで描いた。



檀一雄筆・画「落日を拾ひに行かむ海の果(サンタ・クルスにて)」

檀一雄(1912~1976)は山梨県都留市生まれの小説家。図画の教員だった父をもち、自身も水彩画や油彩画などを描いた。多くの俳句も残しており遺句集『モガリ笛』がある。

関連イベント ※いずれも無料

絵手紙ワークショップ

8月3日[日] 午前の部10:30~11:30 午後の部13:30~14:30

講師 垣中絵美子(絵手紙講師) 会場 茶室(素心菴)

定員 午前・午後各10名 (未就学児のお子様は保護者の付き添いが必要です)

申し込み方法 7月1日(火)よりお電話にてお申し込みください。定員になり次第、締め切ります。

年間文学講座3

「特設展「作家の絵ごころ」 展示資料の見どころ」

7月27日[日] 14:00~15:10

講師 伊藤夏穂(当館学芸員)

会場 研修室 定員 70名

申し込み方法 お電話にてお申し込みください。定員になり次第、締め切ります。

閲覧室資料紹介

「装幀を楽しむ」 7月11日[金]~8月24日[日]

著者が装幀にこだわった図書や意匠を凝らした装幀の図書、魅力的な挿絵を掲載した雑誌などを紹介します。資料は手に取ってご覧いただけます。

会場 1階 閲覧室

会期中チャレンジクイズを実施します

特設展を見てクイズに答えるとプレゼントがもらえます。(プレゼントはなくなり次第終了)

山梨県立美術館で連携展示を実施

本展で展示する夏目漱石画「鷺鳥を追う少女」模写、橋口五葉が装幀した漱石の単行本に合わせて県立美術館で次の作品を展示します。 6月10日(火)~8月31日(日)

●ミレー 《鷺鳥を追う少女》…コレクション展A(ミレー館)にて展示 ●橋口五葉 《夏衣の女》…コレクション展B(テーマ展示室)にて展示

文学館常設展と美術館コレクション展がセットになったお得なチケットもございます。

ご利用のご案内

●開館時間

展示室 9:00~17:00(入室は16:30まで)

閲覧室 9:00~19:00(土・日曜・祝日は18:00まで)

●休館日

7月14日(月)、22日(火)、28日(月)

8月4日(月)、18日(月)

観覧料

常設展観覧料でご覧いただけます。

一般330円(260円)、大学生220円(170円)

※()内は20名以上の団体料金、県内宿泊者割引料金

※高校生以下の児童・生徒は無料

※大学生と高校生は学生証等持参

※65歳以上の方は無料、年齢が分かるものをご提示ください

※障害者手帳をご持参の方およびその介護をされる方は無料

文学館常設展・美術館コレクション展共通券

一般 680円、大学生 340円

交通のご案内

●電車・バス

JR中央本線 甲府駅より

・JR甲府駅バスターミナル(南口)1番乗り場より、39系統 御勅使、03・04系統 竜王駅経由数島営業所、35系統 大草経由韮崎駅、30系統 貢川団地各行きバスで約15分、「山梨県立美術館」下車。
※当館ホームページの「お知らせ」からもバスの時刻表をご覧ください。

・タクシーで約15分

●車

中央自動車道

・甲府昭和インターチェンジより約10分

・双葉スマートインターチェンジより約10分 ※ETC専用

中部横断自動車道

・白根インターチェンジより約20分



X(旧Twitter) @bungakukan_ymns



Instagram @yamanashi_art_literature_park



山梨県立文学館 ホームページ



そのことばのつづきへ
山梨県立文学館
Yamanashi Prefectural Museum of Literature

〒400-0065 山梨県甲府市貢川1-5-35

TEL:055-235-8080 FAX:055-226-9032

https://www.bungakukan.pref.yamanashi.jp/